



東京都
タカハシデンタル
オフィス

高橋 登
先生

今回のアイテム

オラスコープティック歯科用ルーペ

歯科臨床家の診療レベルを向上させるために

歯科医療において、視認することは基本的でもつとも重要な臨床行為のひとつである。診査から予後の確認まで、見えなければなにも始まらない。歯科医師にとって視能力は不可欠な技能であることは疑いない。

ルーペは視能力の差に関わらず、全ての歯科臨床家の診療レベルを一気にアップさせてしまう強力な診療装備である。

若く、視能力の高い歯科医師であれば、更に高い診断能力、臨床精度を身にまとうことができ、老年代の歯科医師であれば、ルーペ用LED照明との併用に

より、若き頃の視能力を回復させることができ。

オラスコープティック社は世界でも信頼されているルーペメーターのひとつで、レンズの品質やバランス・操作性など一級品と呼べるクオリティーを備えている。

筆者は2.8倍、4.8倍、顕微鏡と使い分けて視能力は個人差が大きい。年齢や視力の強弱によって大きく変わってしまう。

いるが、初心者には2.8倍を、中級者には4.8倍をお勧めしたい。

他の診療機器とは違い、毎日、全ての診療に必ず使用する装備なので、目的とからだにフィットしたものを選択したい。